

胎便関連性腸閉塞症に対してガストログラフィン®胃内注入・注腸をした患者様へ

当院は、新生児の胎便関連性腸閉塞症に対してガストログラフィン®胃内注入・注腸を行っておりますが、ガストログラフィン®は多量のヨードを含んでおり、治療を行った方にその後の甲状腺機能が影響を受けないか定期的に検査を行っております。

この研究は、ガストログラフィン®使用後に甲状腺機能異常が生じる場合、早期発見・早期治療を開始することを目的としています。

(1) 当院NICUに入室し、胎便関連性腸閉塞症に対してガストログラフィン胃内注入・注腸を行った患者さん

上記の患者さんを登録します。

患者さんの在胎週数、出生体重、性別、甲状腺機能の値、ガストログラフィン治療後の経過およびその後の転機について情報を収集しています。

患者さんのお名前や住所などの個人情報外部に漏れることはありません。

もし、ご自分の病名や転帰が、このような研究に利用されることを希望されない場合は担当医にその旨をお伝えください。希望されない場合は、その患者さんの情報が登録されることはありません。また、いったん登録がなされた後であっても、登録を撤回することも可能です。

この臨床研究に関してご質問がありましたら、担当医にいつでもお尋ね下さい。

連絡先

成田赤十字病院 小児科

小児科副部長 寺田 和樹

TEL:0476-22-2311 内線 2247~2249 (小児科外来)